

一般演題（ポスター発表） | 一般演題（ポスター発表） | [ポスター発表13] その他

ポスター発表13

その他

座長：遠藤 眞美（日本大学松戸 歯学部障害者歯科学講座）

Sun. Jun 18, 2023 10:00 AM - 10:25 AM ポスター会場 (1階 G3)

[P69]COVID-19流行下における医科・歯科診療所の感染対策に関する困難 感と、対応方法を探る質問紙調査

○小川 俊子¹、伊藤 眞知子 (1. 千葉大学大学院看護学研究院看護学研究科)

【目的】

医科・歯科診療所勤務者の感じている COVID-19に関連する困難を明らかにし、その対応方法を探ることを目的とした。

【方法】

Web を使用した無記名自記式調査を2022年5月1日より5月31日に実施した。全国から無作為抽出した医院200カ所、歯科診療所200カ所に、質問紙へのアクセス方法を記載したはがきを送付し、医科・歯科診療所の職員（医師・歯科医師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科助手・事務員）に回答を依頼した。

【結果と考察】

歯科（以下歯科）11カ所、医院（以下医科）4カ所計15名から回答を得た（回答率3.75%）。臨時休診は歯科2カ所（22.2%）、診療時間の短縮は歯科3カ所（27.3%）、予約枠の縮小は歯科6カ所（54.5%）が実施し、いずれも医科は0カ所だった。訪問診療を実施している場合、訪問を中止した期間があったのは歯科2カ所（50.0%）、縮小した期間があったのは歯科2カ所（50.0%）、いずれも医科は0カ所だった。2019年の同時期に比べ来院患者数が減った歯科は2カ所（18.2%）、医科は4カ所（100%）、診療報酬が減った歯科は4カ所（36.4%）、医科は4カ所（100%）であった。感染対策に必要な資材が入手できなかった時期があった歯科は9カ所（81.8%）、医科は2カ所（50.0%）、感染対策に必要な費用が経営上の負担となった歯科は9カ所（81.8%）、医科は1カ所（25.0%）、緊急時の対応が困難だった歯科は2カ所（18.2%）、医科は0カ所だった。歯科に特化したガイドラインを希望する歯科は5カ所（45.5%）、歯科・医科含め地域医療連携が必要だと全員が答えた。利用できる支援者・支援機関を知りたいと歯科の10カ所（90.1%）、医科の3カ所（75.0%）が回答した。必要な感染対策について、職員のサージカルマスクの着用ができていないと回答した歯科は3カ所（27.3%）だったが、医科では0カ所だった。他の対策は歯科・医科いずれも実施されていた。回答率が極めて少ないため、一般化できないが、歯科では感染対策に必要な資材の入手の困難、感染対策に必要な費用の援助を、医科では来院患者数の減少、減収に対する援助を、いずれに対しても地域医療連携に対する支援が必要と察された。（COI開示：なし）（千葉大学大学院看護学研究院倫理審査委員会承認番号 NR3-91）